令和７年中の治安概況について

ニセ電話詐欺及びＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺対策の推進

【ニセ電話詐欺の認知件数・被害額・検挙人員】※確定値

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
認知件数　(件)	201	329	368	576	849	1,239	+390
被害額　(億円)	3.9	7.6	9.2	13.3	23.3	54.9	+31.6
検挙人員　(人)	60	59	54	77	80	160	+80

※　令和8年までに、被害額3.5億円以下（福岡県総合計画）

【ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺の認知件数・被害額・検挙人員】※確定値

項目	R6	R7	前年比
認知件数　(件)	664	761	+97
被害額　(億円)	69.4	80.2	+10.8
検挙人員　(人)	7	14	+7

※　令和6年1月統計開始

- □ フィリピン共和国やカンボジア王国を拠点とする特殊詐欺グループを検挙
- □ 特殊詐欺における闇バイト募集者の検挙を推進
- □ だまされた振り作戦や職務質問による受け子らの現場検挙を推進
- □ 防犯教室等の機会を通じた国際電話利用休止の申込支援等を実施
- □ 知事・政令市市長・警察本部長によるメッセージ動画等を活用した広報啓発を実施
- □ 金融機関との「特殊詐欺等の情報提供に関する協定」を締結

暴力団及び匿名・流動型犯罪グループ対策の推進

【暴力団の検挙人員・勢力・構成員】※確定値

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
検挙人員（人）	153	131	100	94	66	71	+5
勢力（人）	1,530	1,340	1,260	1,080	980	880	-100
構成員（人）	860	800	760	690	650	600	-50

- □ 太州会会長らによる銃砲刀剣類所持等取締法違反等事件を検挙
- □ 五代目工藤會傘下組織幹部らによる賭博場開張図利等事件を検挙
- □ 道仁会傘下組織組員らによる特殊詐欺事件を検挙
- □ 暴力団組事務所の撤去等の暴力団排除活動を実施

【匿名・流動型犯罪グループ等に対する総合対策の推進状況】

- □ 暴力団組員と匿名・流動型犯罪グループの繋がりを解明し、取締りを実施
- □ 事業者と不正に賃貸借契約し、大麻を営利目的で栽培するという違法なビジネスモデルを解体
- □ 組織的なマネー・ローンダリング事件を検挙
- □ 暴力団排除教室等の犯行に加担させないための対策を実施

飲酒運転・交通事故抑止対策の推進

【飲酒運転事故の発生件数・検挙件数】※確定値

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
発生件数（件）	111	94	91	87	96	96	±0
検挙件数（件）	1,361	1,092	1,391	1,536	1,828	3,064	+1,236

※　令和8年までに、発生件数60件以下（福岡県総合計画、第4次福岡県飲酒運転撲滅推進総合計画）

- □ 飲酒運転情報等に基づく繁華街周辺の機動取締りやミニ検問、毎月の県下一斉取締り、隣接警察署や県境の他県警察との合同取締り等を実施
- □ 危険性・悪質性等を理解させる交通安全教育や風化防止対策を実施
- □ スポーツ団体等と協働した広報啓発活動及び通報訓練を実施

【交通事故の発生件数・死者数】※確定値

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
発生件数（件）	21,495	20,066	19,868	20,173	18,473	17,368	−1,105
死者数（人）	91	101	75	103	91	85	−6

※　令和7年までに、発生件数16,000件以下、死者数80人以下（第11次交通安全計画）
※　令和8年までに、死者数80人以下（福岡県総合計画）

- □ 横断歩行者等妨害等、信号無視、指定場所一時不停止等の交差点関連違反や事故多発路線における速度超過違反等の取締りを実施
- □ 高齢者等への参加・体験・実践型の交通安全教育や関係機関等と連携した二輪車関連の交通事故抑止対策を実施
- □ 「福岡県警察自転車安全対策部隊（通称：FBP）」を発足

性暴力・児童虐待への的確な対処

【性犯罪の認知件数・検挙率】※確定値

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
認知件数（件）	228	251	281	362	482	437	−45
検挙率（%）	96.1	84.5	74.7	71.8	74.1	88.1	+14.0

※　令和８年までに、認知件数190件以下（福岡県総合計画）

- □ 北九州市小倉北区等における連続不同意わいせつ事件を検挙
- □ 福岡市東区等における連続不同意わいせつ事件を検挙
- □ 学校や企業等と連携した防犯教育を実施
- □ キャンペーン等を通じた自主防犯行動を促す広報啓発を実施

【通告児童数、ＳＴ相談等件数、ＤＶ相談等件数】※確定値

区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
通告児童数（人）	5,924	6,451	6,940	7,336	7,224	7,227	+3
ストーカー相談等件数（件）	1,625	1,471	1,351	1,429	1,381	1,546	+165
DV相談等件数（件）	2,747	2,528	2,620	2,688	2,738	3,012	+274

※　通告児童数とは、児童虐待を受けたと思われる児童を児童相談所に通告した数

- □ 被害者等の安全確保を最優先とした検挙や接近禁止命令等の発出
- □ ストーカー・ＤＶ被害者等の転居費用の助成事業を運用開始
- □ 児童からの聴取技法に関する研修会等により司法面接対応力を強化
- □ 児童相談所等関係機関と連携した危険度が高い児童虐待事案への継続的かつ組織的な対応の徹底

サイバー空間の脅威への的確な対処

【サイバー犯罪の相談件数・検挙件数】　※確定値

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
相談件数（件）	4,235	5,732	6,316	5,076	4,854	4,404	-450
検挙件数（件）	338	391	358	513	361	456	+95

※　相談件数については、令和４年５月から統計の方法を変更

- □ 電子決済サービスを悪用した不正アクセス禁止法違反等事件を検挙
- □ 捜査と連動した産学官連携による被害防止対策を実施
- □ サイバー攻撃被害を想定した事業者等との共同対処訓練を実施
- □ 関係機関・団体等とのネットワークを活用して脅威情報を共有

重要凶悪事件の徹底検挙

【重要凶悪事件の認知件数・検挙件数・検挙率】　※確定値

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
認知件数（件）	128	138	119	121	132	126	−6
検挙件数（件）	120	120	93	106	122	104	−18
検挙率（%）	93.8	87.0	78.2	87.6	92.4	82.5	−9.9

※　重要凶悪事件とは、殺人、強盗、放火、略取・誘拐

- □ 北九州市小倉北区において発覚した殺人等事件を検挙
- □ 福岡市中央区における殺人未遂事件を検挙
- □ タイムリーな広報等による被害の拡大防止
- □ 被害者等の視点に立った支援活動を実施

災害・テロ等の脅威への的確な対処

- □ 豪雨や地震の発生に伴う災害警備本部等を設置しての災害対応
- □ 「博多どんたく港まつり」、「ツール・ド・九州2025」等における主催者と連携した警備や第２７回参議院議員通常選挙に伴う警護の完遂
- □ 企業等へのアウトリーチ活動、経済安全保障セミナー等の技術情報等流出防止対策を実施
- □ 武器や爆発物の製造に繋がる情報の収集などのローン・オフェンダー等対策を実施